

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2015~2016年度 No.202

11月 月報

那須クラブ会長 主題
拓こう 築こう ワイズの世界



強調月間：ワイズ理解
ファミリーファースト



10月例会 (アジア学院収穫感謝祭・部長公式訪問) 10月8日(土)

2016~2017年度 主題
国際会長：(IP) Joan Wilson (カナダ)
「私たちの未来は、今日より始まる」
アジア地域会長：(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)
「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事：(RD) 利根川 恵子 (川越)
「明日に向かって、今日働こう」
北東部長：長岡 正彦 (もりおか)
「明日のために、今土台を築こう」

クラブ役員 事務局
会長：田村 修也
副会長：村田 榮
河野 順子
書記：荒井 浩元
会計：鈴木 保江
担当主事：荒井 浩元
ブリテン：田村・村田

10月例会データー (出席率：83.3)
在籍者 6名
例会出席者 4名 メネット 3名
ゲスト 1名、ゲスト5名
メーキャップ 1名

今月の聖句
見よ、あなたの王が来る。彼は
神に従い、勝利を与えられた者。

(旧) ゼカリヤ書9:9

東京目黒クラブ 那須クラブ
11月 Happy Birthday
なし 11/7 原田明子メネット
荒井浩元ワイズ
11/14 河野順子ワイズ

巻 頭 言

原田 時近

10月27日、昭和天皇の末弟三笠宮さまが亡くなられた。戦後の新しい皇室典範が国会で審議されていた1946年12月、三笠宮さまは新聞のインタビューで皇族の婚姻が皇室の会議の決裁を経なければならないことになっていることは、新憲法に反すると異議を唱えられた。「日本の民主化には、まず皇室の民主化から始めるべきだ」と戦後間もない時期にも新聞の取材に積極的に応じ民主主義に適応した皇室像を語ってこられたという。

三笠宮さまは陸軍士官学校に学び、中国南京にあった支那派遣軍総司令部に赴任。敗戦後は、戦争体験から平和でなければならないことを学び和平の立場に身を置かれた。人間天皇、人間皇族の理念の下、その宣言に基づく人生を全うすべく身をもって実行された。その率直な発言、行動には皇族ならではの苦悩・重圧を吐露されていると思う。

前文が長くなってしまったが、この三笠宮さまの記事に、自分の少年時代をかぶせた。戦時下私は中国撫順にいた(1935年~1949年)。父は基督教の牧師で埼玉川越教会から撫順教会に赴任したのであった。このため私は戦況悪化の中、小学校でも先生から基督教は“国体”にあわないと皆の前で言われたり、いじめられっ子でオドオドしていた。父は、1942年9月基督教弾圧により治安維持法違反で投獄され、その後シベリアへ抑留されたのであった。日本国の「現人神の天皇」と「基督教の神」を秤にかけ、どちらを第一とするか・・・と選択を迫ったのである。

このようなことは過去のこと、そんなバカな・・・と一笑に付してはいけないことがあったということを深く心に刻みたい。

真に自由で隣人愛に溢れる世の中の構築を目指してゆきたいものである。もちろんワイズの働きは、このゆえ大きく期待されていると思う。

期待に応えるべく、身体は小さくとも平和の発信源として一人ひとりが力強い存在であり続けましょう。

10月例会(アジア学院バザー・部長訪問)報告

日 時：10月8日(土)・9日(日)

場 所：アジア学院

参加者：メン：田村会長、河野副会長、村田副会

長、原田。メネット：田村、原田、村田。ゲスト：長岡北東部長(もりおか)。ビジター：大浦さん他

10月例会は、恒例になっているアジア学院の収穫感謝祭に協力、模擬店の出店。模擬店での収益金をアジア学院の活動のために献金することです。今年は、私たちの活動の一端を見学していただき、那須クラブの健闘ぶりを身近に感じていただくために北東部長の長岡ワイズの部長公式訪問をこの日に合わせていただきました。日程がYMCA大会とぶつかった為にユースリーダーの協力が得られずルートルばかりのところにとちぎYMCAの職員の大浦さん親子のお手伝いがり華やかさが加わりました。アジア学院の収穫感謝祭は、学生たちのパーフォーマンス、各国の食べ物が豊富に並び、国際色豊かな感謝祭です。



お客様は、アジア学院のサポーター、地元の方々、幼稚園児、ボーイスカウト、ガールスカウト等々です。これまた幅広いお客様が来られます。わがワイズは、小さな子供たちが買えるようなものから、大人の方々に買っていただけるものまで幅広く品物をそろえております。特に今年は、「季節の贈り物」(この季節の草花・おもちゃカボチャ・柿の実・クリ等をアレンジして盛り籠を作る)に力を注いだ。それ以外にシイタケ昆布を仕入れて販売。子供たちのためスーパーボールのくじ引き。不用品の販売等を行った。那須YMCA・ワイズの働きを少しでも知っていただける機会となるよう努力をした。

両日ともに雨が降り、店を大きく広げることが出来ず、売り子も少なかったのですが、売上金額は、70,380円でした。経費として、スーパーボール、盛り籠等の諸経費11,622円、シイタケ昆布売上金26,500円の総計38,122円。差し引き純益額32,258円のうちアジア学院へ30,000円の献金を捧げました。

残金の2, 258円とシイタケ昆布の純益7, 164円は、ワイズの特別会計に入金をいたしました。



10月役員会報告

日時：9月30日（金）18：30～

場所：ココス西那須野乃木店

日時：10月7日（金）18：00～

場所：田村会長宅

出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、田村メネット、村田メネット

協議事項

1. 9月例会の反省

日本の伝統文化に触れるひと時は大変良い会であった。残念なのは、ユースリーダーの参加がなかった。再度行うことにして、ユースリーダーの参加を願う。

2. 10月例会の件

アジア学院収穫感謝祭への参加。北東部長公式訪問。アジア学院への献金。最終準備会を10月7日に行う。

3. 11月役員会について

11月4日（金）午後6時30分よりココス西那須野乃木店にて開催する。

協議内容は11月例会、12月例会、その他、ブリテンの原稿

4. 11月号ブリテンの内容について

西那須野幼稚園、社会福祉法人エルム福祉会で掲載をする。巻頭言は、原田ワイズ。「ユースリーダーのつぶやき」。

5. 11月例会の件

11月12日（土）午前10時～。那須街道赤松林植樹。GSの協力

6. その他

・3月5日（日）の夕刻にユースリーダーを送る会を計画。

・ワイズ会計と別途会計の状況について村田会計代行より説明があった。

旧西那須野（那須西原）の緑と水（44回）

田村修也

この願書を受取った藤川県令は、早速政府にこの願書を進達しました。政府当局に於きましては、最初に二万二千余円で十分であると言ったのに、更に三万五千元という多額の工事費要求にはなかなか応じることが出来ないのも無理はありませんでした。しかし、印南、矢板の身になってみれば、工事は中止され、開拓地では入植者たちの水を求める事情がいよいよ窮地に追い込まれているので、居てもたっても居られない極限に追い込まれていました。

その頃那須西原には少数ではありますが、移住人が入植して、開墾を始めていましたが、この人達も水を得るのに非常に困難な状況に立たされていました。水を得るためには、ある者は石上村や箒川まで、またある者たちは大田原に近い「頭無」というところまで水汲みに行かなければなりません。どちらも半里約2kmほどの距離がありました。炊事、飲料、洗面、洗濯、入浴等々に、水は一日も欠くことが出来るものではありません。

語り伝えられている話によりますと、折角天秤棒で汲んできた水も、家にたどり着く頃には、桶から撥ねだして半分にもなってしまう。ある女性が、いつものように「頭無」まで水汲みに行った帰る途中、肩の痛みを忍びながら家に急いでいると、石につまづいてしまった、その途端、水桶も倒れて水はことごとく流れてしまいました。彼女はあまりの情けなさに、地面に泣き伏せてしまったということです。

印南、矢板の両氏は、事あるごとに県庁に出頭して、催促したのですが、なかなか返事をもらうことが出来ませんでした。とうとうたまりかねて、次のように更なる願書を提出しました。

那須原水路開削工事増金之追願

当那須原飲料水路開削、工費増金之儀は、客冬私共一同の連署を以て、出願候より茲に六月間、其間再三御指令の速やかならん事を願候得共、于今何等の御沙汰を得ず、私共一同惶惑の至りに御座候。抑も、当原野開墾創業以来、産を求めて四方より、来住するもの、皆通水の近きにあるを期さざるはなく、然れども目下炊飯の用に苦むを以て、先深井を穿ち候も、概ね十数尋の深さに達し、不便無限、而も春冬の候、屢々涸渴の患を來たし、殆んど生息に苦み候次第にて、其水利の疎通を望むは、大旱雲霓も畜ならざる儀に御座候。故に、

今日速やかに此工を果さざれば、将に來住せんとする者、自ら逡巡し、已に集まるもの、或は散ずるに至るも難斗、而して、那須原方数里の間、依然一の墟落を見るに至っては、私共従来の経営も、此に於て尽き、実に不堪望洋の嘆候。

加之、向に下附せられたる二万二千余円を以て、開削せる水源、四千間の通路と雖も、今日繼で其工を完成するに非ざれば、砂礫日々崩落して、遂に其旧に復し至難の工事、愈々至難を加え、不測の費額益々不足を生じ、之を奈如ともすべからざるに至り可申、

閣下願くば、明察を垂れ、至急何分の御指令あらんこと、不堪懇請之至候頓首。

印南丈作・矢板 武

栃木県令 藤川為親殿

この願に依て、政府も捨て置き難く、願の通り金三万五千元下渡の指令を發した。

資金欠乏のため、停滞していた工事は、俄に活気づいて、どんどん進捗し、その竣工も近づいた。と記されておりますが、飲料水路跡を見るにつけ、心労の程がいかばかりであったか偲べれます。

(以下次号へ)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
理事長・園長 福本光夫

10月24日(月)、25日(火)と、学校法人西那須野学園、社会福祉法人しらゆり会の役員合同研修で富山型デイサービス「しおんの家」、「にぎやか」を見学してきました。西那須野幼稚園は、西那須野教会により地域への奉仕ということで、59年前に創立され、全ての幼児の保育・教育、子育て支援を積極的に実践してきました。そして、2000年からは、「トトロ・プロジェクト」と名付け、コミュニティー・インクルージョン(地域包括ケア)を目指して、地域の資源である保護者・西那須野の教会・那須YMCA・五軒町区・更生保護女性の会の皆様などの支援をいただきながら、共に支え合う地域を目指しているところです。

さて、この夏、自主研修で訪問した高知県が力を入れている地域の拠点としての小規模多機能型デイサービスは、超高齢化社会にもかかわらず、人口減で高齢者も少なくなり、高齢者・しょうがい者・子どもが過ごさざるを得ない場所。つまり、幼稚園、保育所、高齢者施設、しょうがい者の施設が成り立たなくなった最終型施設の様な印象を

受けました。もちろん、子ども、高齢者、そしてしょうがい者が共にする生活から産み出されるものは大変素晴らしく理想の一つと感じました。

今回訪れた富山型デイサービスは、地域のニーズで始められた多機能型の活動を富山県が認め、国に特区申請をし、子どもは子どもだけ、高齢者は高齢者といったようなこの時代の都合による縦割の線引きはあるものの、緩い形で横の連携を大切にした「地域共生型」の施設として実践されているものでした。イメージとしては、それぞれ利用者は法律もサービスも違いますが、三世代同居の大家族と一緒に生活をしているというものです。最初に訪問させていただいた「しおんの家」は、必要に迫られたキリスト者の歩みを教会の祈りが支える形でスタートしました。次に訪問した「ありのまま」は、時間割のようなプログラムは無く、「ありのままうけいれます」、「いいかげんですんません」、「死ぬまで面倒見ます」という利用者の意思や希望がとおりやすい緩いモットーで運営されています。強制的なプログラムではない共生的なプログラムを通して営まれる関係性のなかで、スタッフも含めたみんなが生き生きと生きている感じを受けました。その意味では高知県と一緒にです。

本園の場合は、前文に述べた内容を持続可能な地域という点を大切にできています。子どもたちが大人になっても故郷があるように今のうちから備えていきたいと言う考えです。那須塩原市は、2011年より人口の社会的流入増減、自然増減もマイナスに転じました。県北地域の課題として若い世代の職場の確保や移住は喫緊ですが、日本自体が人口減なので、このまま手推移すると、県北自治体の収入は減り、公的サービスは低下し、それを担う自治体職員も減少します。それは悪いことではありません。しかし、たとえそうなったとしても、地域が自立し存続出来るような備えが必要です。また、少数かもしれませんが、卒園生が故郷であるこの地域に戻ってくることも大切な備えの一つです。昨日の10月誕生日会である男の子が、大人になったらラーメン屋さんの社長になるとみんなの前で話しました。どうしてと聞くと、お父さんが一生懸命やっているからと応えてくれました。とてもうれしく思いました。子どもの希望を叶えることも幼稚園の使命です。その為に保育の質を充実し、皆様と一緒に持続可能な共生地域を目指します。

(しらゆり 2016. 10. 28 加筆修正)

今後の予定

・ 11月役員会

日時：11月4日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：11月例会、12月例会、12月号ブリテンの発行等。

・ 11月（赤松林植樹）例会

日時：11月12日（土）10：00～

場所：那須街道赤松林集射場

内容：植樹活動、様々な森づくり体験、森のハンドクラフト。

・ 12月役員会

日時：12月2日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：12月クリスマス例会、1月例会、1月号ブリテンの発行等。

・ 12月（クリスマス）例会

日時：12月16日（金）午後6時～

場所：西那須野教会

内容：パイプオルガンによる燭火礼拝と祝会

・ 北東部第2回評議会

日時：11月26日（土）午後1時～

場所：仙台YMCA

YMCA 報告

【第19回日本YMCA大会に参加してきました！】

10月8日（土）～10日（月）に日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘にて第19回日本YMCA大会が開催されました。日本YMCA大会は2年に1度の大きなイベントで、全国のYMCAから会員、ユースボランティア、ワイズメン、スタッフなど様々な方が東山荘に集います。今年は約300名の参加者が集まり、そのうち半



数はユース世代の参加がありました。とちぎYMCAでは、17名（うちユースボランティアリーダー10名）が参加してき

ました。「ユースエンパワーメントを加速する～私たちの活動が社会を変える～」のテーマをもとに講演やディスカッションなどを通して、「ユースエンパワーメント」について考えを深めていきました。また、全国のYMCAに関わる方々との交流もあり、実り多き時間を過ごすことができ、とちぎYMCAでの活動の活力となると期待しております。

【第47回全国YMCAリーダー研修会に参加してきました！】

10月8日（土）～10日（月）に神戸YMCA余島野外活動センターにて第47回全国YMCAリーダー研修会が開催されました。今年は「体験を確かなものに『Because of～あの体験があったから今の私がある』」のテーマをもとに全国のユースリーダーが集まり、講演やディスカッション、プログラムを通して、YMCAリーダー組織を牽引するひとりとして、子どもたちのリーダーとして意識を高め合いました。とちぎYMCA



からはヤンリーダー（金安理香）とすっちリーダー（須江卓矢）が参加しました。

今回参加したリーダーが、今回の経験が糧となり、YMCAでのボランティア活動が実り多きものとなりますように願っております。この度は貴重な機会を頂きどうもありがとうございます。

【とちぎYMCAウィンタープログラムが始まります！】

11月1日（火）より、ウィンタープログラムの募集受付が始まります。宿泊キャンプやデイキャンプなど楽しい企画が盛りだくさんです。是非、沢山の方にお誘い頂き、ご参加をお待ちしております！

WEB先行受付：11/1（火）10：00～11/14（月）17：00

会員電話受付：11/15（火）13：00～

一般電話受付：11/17（木）13：00～

【YMCAイングリッシュ那須でハロウィークラスがありました！】

10/26（水）～10/28（金）の3日間、YMCAイングリッシュ那須でハロウィークラスがありました。今年度からトリック・ア・トリートプログラムを行ってみました！英会話教室の近

隣、西那須野教会、扇寿司、ファミリーサポートセンターにご協力をお願いし、生徒と英語講師が仮装し、お邪魔して「Trick or Treat!」とお菓子を貰いに行きました。子どもたちはとても楽しくプログラムを過ごしていて、YMCA近隣が少し賑やかな時間となりました。

【北東部リーダーズアクトリリーダー会がキックオフしました!】

2017年2月25日(土)~26日(日)に「北東部主催リーダーズアクト」が開催されます。昨年度までは仙台においてサッカー交流大会と併催で行っていましたが、今年とはちぎYMCA杯エンジョイドッジボール大会に被災地の子どもたちを招待し、子どもたちと関わる中でユースリーダーたちも子どもたちの笑顔のために自分はどうすればいいかを考えていくプログラムを企画していきます。今回のプログラムには、『みらくるエージェント』というとちぎYMCA有志のユースボランティアリーダーとユーススタッフ5名が企画をしています。また、宇都宮ワイズの大久保メンととちぎユースサポーターズネットワークの岩井さんに助言を頂いております。是非、切磋琢磨しているみらくるエージェントの姿を見守って頂けたら幸いです。

【とちぎYMCA・那須YMCAの11月の予定】

- ・11/3(木・祝) みんなでワイ・Y・さくらんぼバザー2016@さくらんぼ幼稚園
- ・11/5(土) サタデークラブ@長峰公園
- ・11/6(日)~11/10(木) 南投YMCA講演会・日台YMCA連絡委員会@台湾
※塩澤総主事および荒井が出席いたします。
- ・11/13(日) Yキッズ@みずほの自然の森公園
- ・11/16(水) 広がれ!子ども食堂の輪 in 栃木@とちぎ青少年センター
※塩澤総主事および荒井が実行委員をしています。
- ・11/16(水)~11/18(金) YMCAイングリッシュ那須保護者参観
- ・11/19(土) サタデークラブ@西那須野幼稚園(クラフト)
- ・11/26(土) サタデークラブ@西那須野幼稚園(クラフト)

ユースリーダーのつぶやきコーナー

【ぐっちょりリーダー 川口 夏菜子】

私にとってユースエンパワーメントとは「発信

していく力」と「巻き込んでいく力」です。まず、今の私にとって最も重要なことは「発信していく力」だと感じます。何か物事について深く考え、社会を変えていきたいと思った時、1人の力ではどうすることも出来ません。社会を変えるには同じような志を持った仲間が必要です。そこで自分自身の考えを共有し、「この指とまれ」方式で仲間を集めていくことが非常に重要なことだと感じました。次に「周囲の人を巻き込む力」も必要です。元々のモチベーションが高い人を巻き込んでいくことは比較的容易に出来ますが、そうではない人を巻き込むことは難しいことだと思います。この2つの力の実現に向け、今 私たちに求められていることは「聴く力」だと思います。これは、とても単純なことですが、非常に難しいことです。人の話に耳を傾ける際に注意すべきことは、否定をしないということです。こんな考え方もあるんだ、と一度受け入れることで新たな視点で物事を考えるようになり、新しい発想や考え方が自然と浮かんできます。

この3つのことが、今回の日本YMCA大会で私が学んだことです。今後、YMCAのリーダーとしての活動でも活かせることでもあり、社会を構成する人のひとりとしても必要な能力と力です。蔑ろにしがちな単純なことが、とても重要であったことに改めて気付くきっかけになりました。



編集後記

・11月号のブリテン大変遅れて申し訳ありません。多くのクラブより11月号のブリテンが送られてくるたびに何とかしなければと焦りを感じています。

・アドベントを迎える準備の時間を大切にしながら12月号のブリテン発行に励みます。ご指導をよろしくお願ひします。